



ナマズの知恵袋

平成 22 年 (2010 年) 2 月 1 日
編集・発行 滋賀県立図書館

安い? 高い? お金と暮らし

昔から私たちの生活にとって「お金」はなくてはならないものです。それだけに私たちはその時々のお金や、景気の動向などに一喜一憂させられてきました。「今の不況の発端はなにか?」「経済状況と私たちの暮らしの関係は?」から、「あの頃のもの値段は?」まで、今回はそんな「お金」のことにまつわる疑問について調べる本をとりあげてみました。



世界経済の動き

**Q. リーマンショックとは、
なんですか?**

A. 2008年9月のアメリカ大手投資銀行リーマン・ブラザーズの破綻申請を契機として、国際金融市場は一層深刻化し、世界金融危機に陥った。(中略) それ以降は、金融システム全体をゆるがす問題へと拡大していった。

(『世界経済の潮流』本文より)



『世界経済の潮流 2008年』内閣府政策統括室編 日経印刷/トコ印刷 2009年 [R-3320-セ]

2002年に創刊し、第部「世界経済の動向・政策分析篇」と第部「展望篇」から構成されています。2008年では、9月に発生した世界的な金融危機について詳しく分析しています。

『経済財政白書 平成20年版』内閣府編 時事画報社 2008年 [RB-3321-ケ]

1947年にわが国初の白書として発表された『経済白書(経済実相報告書)』が、この白書の前身です。平成20年版の副題は「リスクに立ち向かう日本経済」となっており、アメリカ発のショックを受けた日本経済の脆弱性を問い直します。毎年特色を持ったテーマをつけて分析しており、白書の読み応えはここにあると言えます。



『中小企業白書 2008年版』中小企業庁編 ぎょうせい 2008年 [RB-3353-チ]

「中小企業」とは、中小企業基本法に基づき、資本金3億円従業員300人以下(業種によって基準は異なる)の会社を言い、全企業数の99.7%を占めています。2007年夏以来のサブプライム住宅ローン問題、原油価格高騰が中小企業を直撃しています。本書では、中小企業の生産性の向上に向けていくつかの提案と、「Case事例」と銘打った囲み記事が多数掲載されており、中小企業関係者の方々が何かしら経営のヒントを得られるのではないのでしょうか。



日本経済の最新の変化を見る

『日本経済 2009-2010 デフレ下の景気持ち直し: 「低水準」経済の総点検 - 』内閣府政策統括室編 日経印刷 2009年12月 [G-3321-ナ] 『経済財政白書』刊行後の日本経済の現状を分析しています。リーマンショック後に急速な景気悪化に陥った日本経済は、2009年春頃には景気に持ち直しの動きが見られるようになりました。その持ち直しの特徴を検討しています。巻末の長期経済統計は1955年から2008年まで通覧できて便利です。

『経済・ビジネス基本用語 4000語辞典』日本経済新聞社編刊 2009年11月 [R-3303-ニ]

「バブル経済」「サブプライムローン」といった新語も引けます。経済用語の最新辞典です。

暮らしと景気



『国民生活白書 平成 20 年版』
内閣府編 時事画報社 2009 年
[RB-3650-ク] 第 3 節「社会の主体としての消費者、生活者～幸福の探求」では、国民の幸福度と 1 人当たり実質 GDP (国民総生産)との相関関係を分析しています。両者に相関関係はなく、所属

や個人が置かれている状況に影響を受けるようです。



『暮らしに役立つ情報データ事典 2008/2009 年度版』
暮らしのリサーチセンター編刊 2009 年
[RB-3650-ク] 暮らしの視点に役立つ情報・データ約 300 項目を集約した便利な一冊です。「物価と暮らし」「教育と暮らし」「株価の推移」等々 1 項目 1 ページの

スタイルで簡潔にまとめています。



総務省統計局編刊の年報

仔細なデータは、景気と価格の関係を見るのに大変重宝します。国の経済政策・金融政策のための基礎資料となっています。

左『家計調査年報 平成 20 年』 [RB-3654-カ]

中『消費者物価指数年報 平成 20 年』 [R-3378-シ]

右『小売物価統計調査年報 平成 19 年』 [R-3378-ク]

あの頃のものの値段は？



一杯の コーヒーから 夢の花咲く こともある ~

「一杯のコーヒーから」(藤浦洸作詞・服部良一作曲・霧島昇歌)が流行した
昭和 14 年。当時のコーヒー一杯の値段はいったいいくら？

身近なものの当時の値段について、品目ごとに値段表・エッセイを掲載した『値段の明治大正昭和風俗史』朝日新聞社 [2-3821-1~4] によると 15 銭です。これは東京・浅草「アンジェラス」での値段です。『物価の文化史事典 明治・大正・昭和・平成』甲賀忠一編 展望社 2008 年 [R-3378-フ] ではコーヒー一杯の値段を「三越食堂」の数値を用いており昭和 14 年で 10 銭とあります。喫茶店によって値段は多少のちがいがありますが目安になります。明治～昭和・平成にかけての値段は『日本の物価と風俗 135 年のうつり変わり(明治元年～平成 13 年)』アカデミー編 同盟出版サービス 2001 年 [RB-3378-ニ]、『値段史年表』週刊朝日編 朝日新聞社 1988 年 [G-3378-シ] でもわかります。

江戸時代の人々の

生活に必要なサービス料金や

物価はどのくらいだったのでしょうか？



『江戸物価事典』小野武雄著 展望社 1980 年 [R-3378-オ]

には、江戸時代の物価について「交通と通信」「医薬」「商業と町内の運営」「職人の生活」など当時の生活場面の項目にわけて掲載しています。「湯屋と髪結床」の項目の中には次のような記述があります。「江戸の髪結の値段は一梳二十八文であったが天保改革後は二十文や二十四文の店がいろいろ出現して激しく競争した。」

【ちなみに、そば・うどん = 1 杯六文でした。】

『近世後期における主要物価の動態(増補改訂)』三井文庫編 東京大学出版会 1989 年 [2-3378-ミ] は三井大阪両替店の旧帳簿「諸相場之控」を基としたもので、大阪・江戸の「主要商品相場表」、京都・大阪・江戸の「日用品小売物価表」を収録しており、江戸時代(享保年間)から明治時代はじめまでの主な物価の動態がわかります。

経済や暮らしに関する新しく豊富な情報が
Q&A 形式で探せます。

日本銀行「教えて！にちぎん」

<http://www.boj.or.jp/oshiete>

総務省統計局の調査報告書類なら

<http://www.stat.go.jp/>

